

1	審議会名	真田地域協議会
2	日時	平成30年10月23日(火) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	荒木克子委員、遠藤良和委員、金子幸恵委員、木島徳行委員、倉嶋幸雄委員、 下条明敏委員、関千恵子委員、高寺由美子委員、中川ひろ子委員、長崎理恵子委員、 半田令子委員、堀内紳一郎委員、堀内節子委員、堀内靖委員、松本規男委員、 皆川克彦委員、宮島国彦委員、柳沢泉委員、横林岳委員
5	市側出席者	山宮センター長、塚田地域振興課長、堀内市民サービス課長 桜井産業観光課長、宮沢建設課長、宮崎教育事務所長、瓶子真田消防署長 宮崎地域振興課地域政策担当係長、春原主査、望月主任、高木主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成30年11月19日

協議事項等

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 センター長あいさつ
- 4 報告・確認事項
 - (1) わがまち魅力アップ応援事業 計画発表

申請者から今年度の計画発表～ 事業名「真田三代新年祝賀祭」
・以下、質疑内容

(会長) 印刷製本費でチラシを2種類 13000枚と5000枚作成するが、どのように配布するのか。
この配布数の差は何か。

(申請者) 新年祝賀祭全体のチラシは真田地域全戸と学校に配布したい。祝姫乱乱のチラシは学校と
昨年参加者に配布したい。

(会長) 真田地域限定なのか。

(申請者) 祝姫乱乱のチラシは真田地域と昨年の参加者、学校関係を重点的に配布したい。
新年祝賀祭全体のチラシは少し広い範囲で配布したい。
 - (2) 分科会協議状況報告

(第1分科会)

第1分科会は地域の活性化策ということでテーマを大きく3つに分けて話し合いを行っている。
1つは真田のブランドをどのように作っていくか、2つ目が既存公共施設の活用、3つ目は地域に
ある未使用の場所を使った継続的な活用方法。また、前回の分科会から付箋を使用し、協議内容を
わかりやすく進めるように変えた。予算上のことも踏まえて、より具体的な実現可能な提言を委員
全員でまとめていきたい。

(第2分科会)

現在はいくつかあるテーマのうち災害に関するテーマについて話し合いを行っている。第2分科
会でも付箋を使って最初の15分ぐらい自分の中の意見を整理して書く時間を設けている。避難所
の問題、情報伝達の問題、防災の問題などの項目について意見が出ている。その中で、避難所の現
状、行政と住民との意識の違いなどの意見が出されているので、具体的に話を進めたい。それに併
せて、もっとざっくばらんな座談会のように皆さんの本音が出されるようになれば、もっといい提

案ができるのではないかと模索中です。

(3) 次回協議会開催日時の確認

・第8回真田地域協議会

開催日時：平成30年11月20日(火)午後7時から

(4) その他

(委員) 先週、傍陽で事故があった。横断歩道の照明などを見直してもらいたい。中学校の前の横断歩道も中学生が渡ろうとしているのかわからないことがある。危ないので学校にも伝えてもらいたい。

(センター長) 明日、萩自治会の役員さんがその件に関して要望に来られることになっている。

真田の自治センターですべて対応できればいいが、現場は県道敷であり、横断歩道やバス停などに関しても、それぞれ所管が異なる。地元の皆様の声を関係機関につなげていきたい。早急な安全対策に向け、いただいたご意見等を参考にしながら取り組んでまいりたい。

5 全体会閉会

~全体会終了後分科会協議~